

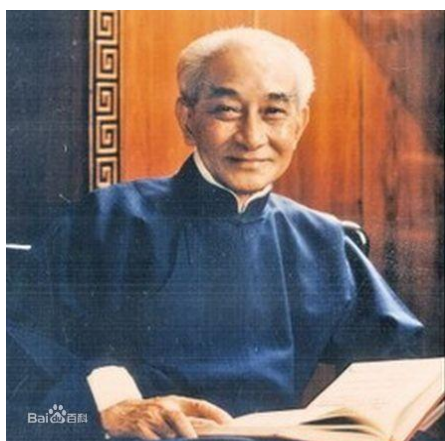


shin

中国のある小学校について

一 吳江太湖国際実験学校

現代の中国のあらゆる分野に大きな影響を与えた人物がいます。南懷瑾（ナン・カイキン）という人ですが、ご存知でしょうか。彼は中国では有名ですが、日本では、殆ど知られていないようなので、その一端をご紹介しますと思います。



「南懷瑾」(ナン・カイキン)、1918年3月18日中国浙江省温州に生まれました。

中国屈指の国学大師、詩人、伝統文化伝承者で、儒・釈・道三教に精通する伝説的な存在です。

2012年9月29日に、中国江蘇省吳江市の「太湖大学堂」(中国伝統文学を普及する教育施設)で逝去されました。享年94歳でした。

※以下、「南師」と略称します。

南師は、多くの業績と逸話を残していますので、そのすべてを紹介するのは困難です。教育にも多大の貢献をしていますので、今回は、彼が晩年特に力を入れた子供の教育面に絞ってご紹介しましょう。

南師は、2008年に「吳江太湖国際実験学校」という小学校を開校しました。

この小学校は江蘇省南部、上海から車で1時間ほどの太湖湖畔にあります。山紫水明、優雅な環境に囲まれ、校舎は全て環境に優しい建材が使用され、風通しがよく、生徒が自然に満ちた快適な環境の中で、のびのびと学習し成長できるよう配慮されています。

南師の言葉：

「国家や民族が、最悪、滅んでも怖くないが、その国家及び民族の伝統文化が一旦失われると、永遠に回復できず、立ち直ることができなくなる。これより恐ろしいことはない。」

呉江太湖国際実験学校を創立した理由について、南師はこう述べています。

「現代の中国人は、西洋教育思想の影響を強く受け、徐々に『承先起後、継往開来（先人の後を受け新しく発展する端緒を開き、前人の事業を受け継ぎ将来の発展に道を開く）』文化教育精神を忘れかけてしまった。

ここ 100 年近くの中国人は文化の基礎ができていない。すなわち、受け継がれてきた伝統的な文化を軽んじて、文化断裂の危機に直面している。現代の教育は、主に知識と技能を伝授するだけで、伝統教育の人格養成と民族文化の伝承を重視していない。』

呉江太湖国際実験学校の特徴

特色 1：国語、算数、英語の他に“読経”や拳術も学ぶ

生徒は朝食前と放課後に各 1 時間拳術を練習し、午後の休憩時間後と夕飯後に、各 20 分読経します。午前中は国語、算数、英語を学び、午後は体育や自由選択科目などです。金曜は屋外体験日で、団体訓練、野外炊事、自然生態の総合体験学習などに費やします。



農作業



読経時間

国語に重点を置き、主に古文を教えます。教材は南師が四書（大学、中庸、論語、孟子）から選りすぐって編集しました。

算数は普通の小学校と同時進行です。英語は台湾で有名な薇閣学校とアメリカのコロンビア大学が共同で作った人文教養を重視する教材を使って、経験豊富な欧米籍の教師が指導します。

他にも、自由選択科目には東洋医学、科学、書法、茶道、算盤、美術、音楽、演劇、工作、それに日本語もあります。東洋医学の勉強を通して、生徒は臓器と疾病の関連知識と、二十四節気を巡る生活上及び飲食上の注意点を学び、常用漢方薬剤の名前、由来、特性などを知ります。

毎学期、3日間キャンプ生活があります。大自然の中で、鋭気を養い、共同生活を体験し、生徒たちがテントを張り、薪を拾い、釜戸を作り、食材を調達します。

特色2：食の安全の為、野菜は殆ど学校で自己栽培

普段、生徒が食べている野菜（トウモロコシ、青菜など）は、常勤している農民が校内にある畑で有機栽培しています。

毎食は一汁四品で、栄養のバランスが考慮されています。時には洋食も提供されます。校内では、一年中30度前後の飲用水を使用します。毎朝作りたての豆乳を提供し、原則として、牛乳は飲ませません。

特色3：「恭敬心（礼儀にかなって丁重である心）」を養う

全学年、寄宿制です。校内では、携帯電話、iPad、ゲーム機の使用は禁じられ、テレビも観せず、お小遣いも持たせません。

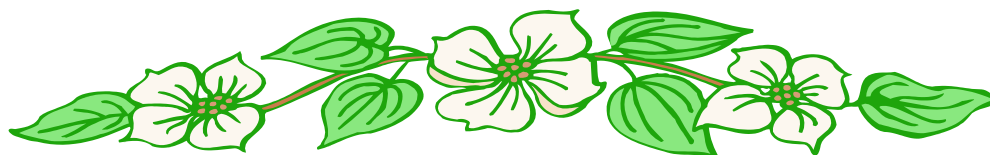
寄宿舎では、高学年生と低学年が5～6人で1部屋に住みます。生活指導教員の他に、部屋ごとに部屋長が選ばれ、部屋を整理整頓する際に、低学年の子たちを手伝います。

親元を離れた幼い子が一人前の生活能力を身に付けられるよう、生活指導教員たちは、布団のたたみ方、下着や靴下の洗い方、歯の磨き方、用具の並べ方などをひとつひとつ丁寧に教えます。一人っ子政策で、甘やかされて育った子供たちに自主独立の精神を植え付けるだけでなく、生徒の「恭敬心」を養う為でもあります。

特色4：入学選考基準：まずは親、子は次

生徒は中国全土から集まっていますが、中には、アメリカ、カナダからの中国系児童もいます。年間の費用は9.6万元（約160万円）です。かなり高額なので、ある程度の経済力が必要です。入学希望者が多く、学校は保護者の価値観を第一の選考基準にしているようです。

大まかな紹介にしかすぎませんが、南師の創立した若年者教育の一つの形である呉江太湖国際実験学校が、将来の健全な「中国人」を数多く輩出し、日本についてもいろいろ教えることで、日中の友好に寄与してくれることを強く期待したいものです。



本を読むことは好きですが、知識の足りないことを日頃から痛感しています。南師の言葉に感銘を受け、もっと勉強せねばと感じました。南師と彼が愛した学校を日本の皆様に少し知っていただきたく紹介させて頂きました。(shin)